

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2014年4月4日
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	短期NZドル債オープン（毎月分配型） ・短期NZドル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 短期NZドル債マザーファンド ・ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	短期NZドル債オープン（毎月分配型） ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 短期NZドル債マザーファンド ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

## 運用報告書（全体版）

### 第13作成期

決算日

第72期	2020年4月7日
第73期	2020年5月7日
第74期	2020年6月8日
第75期	2020年7月7日
第76期	2020年8月7日
第77期	2020年9月7日

## 短期NZドル債オープン （毎月分配型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期NZドル債オープン（毎月分配型）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第13作成期（第72期～第77期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	(分配落)	税分配	込金	期騰落	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
第48期 (2018年4月9日)	8,338	30	1.5	10,017	1.5	95.3	—	388
第49期 (2018年5月7日)	8,165	30	△ 1.7	9,848	△ 1.7	98.4	—	368
第50期 (2018年6月7日)	8,263	30	1.6	10,007	1.6	96.5	—	371
第51期 (2018年7月9日)	8,039	30	△ 2.3	9,770	△ 2.4	95.1	—	361
第52期 (2018年8月7日)	7,955	30	△ 0.7	9,707	△ 0.6	95.9	—	355
第53期 (2018年9月7日)	7,731	30	△ 2.4	9,460	△ 2.5	96.8	—	344
第54期 (2018年10月9日)	7,705	30	0.1	9,482	0.2	96.9	—	343
第55期 (2018年11月7日)	8,062	30	5.0	9,962	5.1	91.9	—	355
第56期 (2018年12月7日)	8,171	30	1.7	10,127	1.7	93.9	—	345
第57期 (2019年1月7日)	7,711	30	△ 5.3	9,559	△ 5.6	93.2	—	322
第58期 (2019年2月7日)	7,843	30	2.1	9,752	2.0	97.0	—	292
第59期 (2019年3月7日)	7,969	30	2.0	9,939	1.9	96.4	—	294
第60期 (2019年4月8日)	7,913	30	△ 0.3	9,883	△ 0.6	96.9	—	290
第61期 (2019年5月7日)	7,702	30	△ 2.3	9,662	△ 2.2	95.9	—	278
第62期 (2019年6月7日)	7,581	30	△ 1.2	9,524	△ 1.4	96.7	—	272
第63期 (2019年7月8日)	7,605	30	0.7	9,571	0.5	97.0	—	273
第64期 (2019年8月7日)	7,341	30	△ 3.1	9,260	△ 3.2	95.4	—	261
第65期 (2019年9月9日)	7,271	30	△ 0.5	9,194	△ 0.7	91.3	—	258
第66期 (2019年10月7日)	7,121	30	△ 1.7	9,039	△ 1.7	93.1	—	248
第67期 (2019年11月7日)	7,223	30	1.9	9,277	2.6	98.0	—	249
第68期 (2019年12月9日)	7,354	30	2.2	9,517	2.6	98.5	—	247
第69期 (2020年1月7日)	7,434	30	1.5	9,668	1.6	96.2	—	245
第70期 (2020年2月7日)	7,290	30	△ 1.5	9,503	△ 1.7	97.4	—	238
第71期 (2020年3月9日)	6,683	30	△ 7.9	8,692	△ 8.5	97.7	—	218
第72期 (2020年4月7日)	6,643	30	△ 0.1	8,753	0.7	88.0	—	218
第73期 (2020年5月7日)	6,628	30	0.2	8,635	△ 1.3	84.1	—	218
第74期 (2020年6月8日)	7,362	30	11.5	9,624	11.5	93.0	—	243
第75期 (2020年7月7日)	7,250	30	△ 1.1	9,514	△ 1.1	93.6	—	238
第76期 (2020年8月7日)	7,234	30	0.2	9,517	0.0	90.1	—	232
第77期 (2020年9月7日)	7,324	30	1.7	9,662	1.5	97.1	—	218

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\* 基準価額の騰落率は分配金込み

\* 先物組入比率は、買建比率－売建比率

\* 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

### 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
第72期	(期首) 2020年3月9日	円 6,683	% —	8,692	% —	% 97.7	% —
	3月末	6,683	0.0	8,739	0.5	87.7	—
	(期末) 2020年4月7日	6,673	△ 0.1	8,753	0.7	88.0	—
第73期	(期首) 2020年4月7日	6,643	—	8,753	—	88.0	—
	4月末	6,791	2.2	8,838	1.0	83.8	—
	(期末) 2020年5月7日	6,658	0.2	8,635	△ 1.3	84.1	—
第74期	(期首) 2020年5月7日	6,628	—	8,635	—	84.1	—
	5月末	6,926	4.5	8,990	4.1	92.2	—
	(期末) 2020年6月8日	7,392	11.5	9,624	11.5	93.0	—
第75期	(期首) 2020年6月8日	7,362	—	9,624	—	93.0	—
	6月末	7,137	△ 3.1	9,317	△ 3.2	93.1	—
	(期末) 2020年7月7日	7,280	△ 1.1	9,514	△ 1.1	93.6	—
第76期	(期首) 2020年7月7日	7,250	—	9,514	—	93.6	—
	7月末	7,197	△ 0.7	9,435	△ 0.8	90.1	—
	(期末) 2020年8月7日	7,264	0.2	9,517	0.0	90.1	—
第77期	(期首) 2020年8月7日	7,234	—	9,517	—	90.1	—
	8月末	7,300	0.9	9,599	0.9	95.6	—
	(期末) 2020年9月7日	7,354	1.7	9,662	1.5	97.1	—

\*騰落率は期首比です。

\*期末基準価額は分配金込み

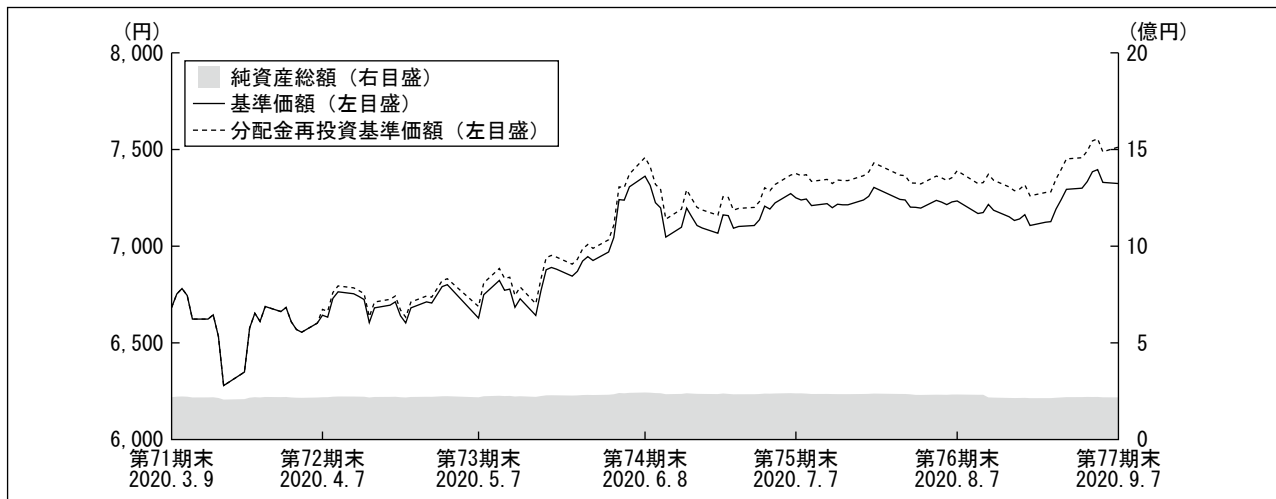
\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第72期首： 6,683円

第77期末： 7,324円（作成対象期間における期中分配金合計額 180円）

騰落率： +12.4%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

作成期初、新型コロナウイルス感染拡大の影響でNZドル円は下落して始まったものの、その後は新型コロナウイルスに対する過度な懸念が後退し、NZドル円も大幅に反発し、基準価額の上昇要因となりました。また、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が強力な金融緩和を行ったことでNZ国債の利回りが低下（価格は上昇）したことも基準価額の上昇要因となりました。

## 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

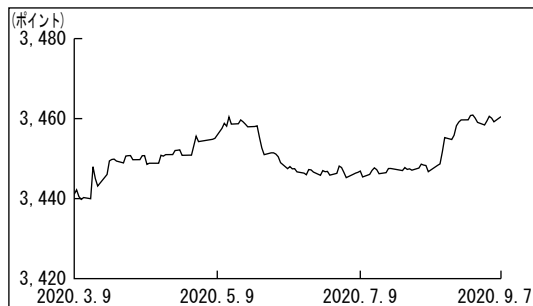
### 【投資環境】

当作成期のNZ債券市場は、RBNZの強力な金融緩和を背景に大幅に利回りが低下（価格は上昇）しました。また、NZドル円は、新型コロナウイルスへの過度な懸念の後退から上昇しました。

作成期初の3月には、新型コロナウイルスの感染者が世界的に急増し、各国が都市封鎖や外出制限などの対策を行ったことで、景気減速懸念が高まりました。質への逃避の動きから現金需要が急激に高まり、NZ国債は一時大幅に利回りが上昇（価格は低下）する場面もありました。その後、3月末にかけてはRBNZが利下げおよび量的緩和の導入を決定したことで債券市場は落ち着きを取り戻し、その後もRBNZがハト派的な姿勢を継続したことで低下基調をたどりました。

NZドル円相場についても、3月の質への逃避の動きでは一時的に大幅に下落したものの、その後は各国の財政政策や中央銀行の強力な金融緩和、感染者数のピークアウトなどを背景にリスク志向が回復し、作成期首対比で大幅に上昇して作成期末を迎えました。

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



為替レート（ニュージーランドドル／円）の推移



## 短期N Zドル債オープン（毎月分配型）

### 【ポートフォリオ】

#### ■短期N Zドル債オープン（毎月分配型）

主要投資対象である短期N Zドル債マザーファンドを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の実質的な公社債組入比率は97.1%としました。

#### ■短期N Zドル債マザーファンド

当作成期の騰落率は、+13.1%となりました。

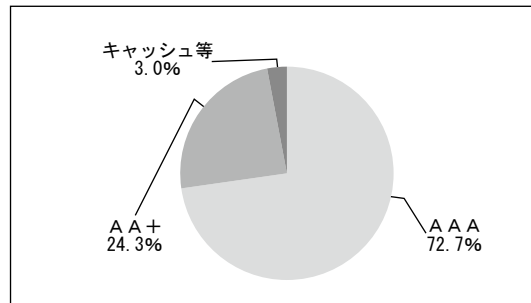
当作成期は、新型コロナウイルス感染拡大を背景にRBNZがハト派的な姿勢を維持したことを受け、作成期を通じてデュレーション\*を長めでコントロールしました。

作成期の前半は、RBNZが利下げに加え量的緩和を導入するなど強力な緩和策を決定するなか、作成期首時点で長めとしていたデュレーションを維持しました。その後、3月に急落した株式市場が反発するなど金融市場が正常化に向かうなか、作成期中にデュレーションを小幅に引き下げた場面もあったものの、RBNZがハト派的な姿勢を維持していることを背景に、その後もデュレーションは長めの水準で維持しました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

格付別資産構成

(2020年9月7日現在)



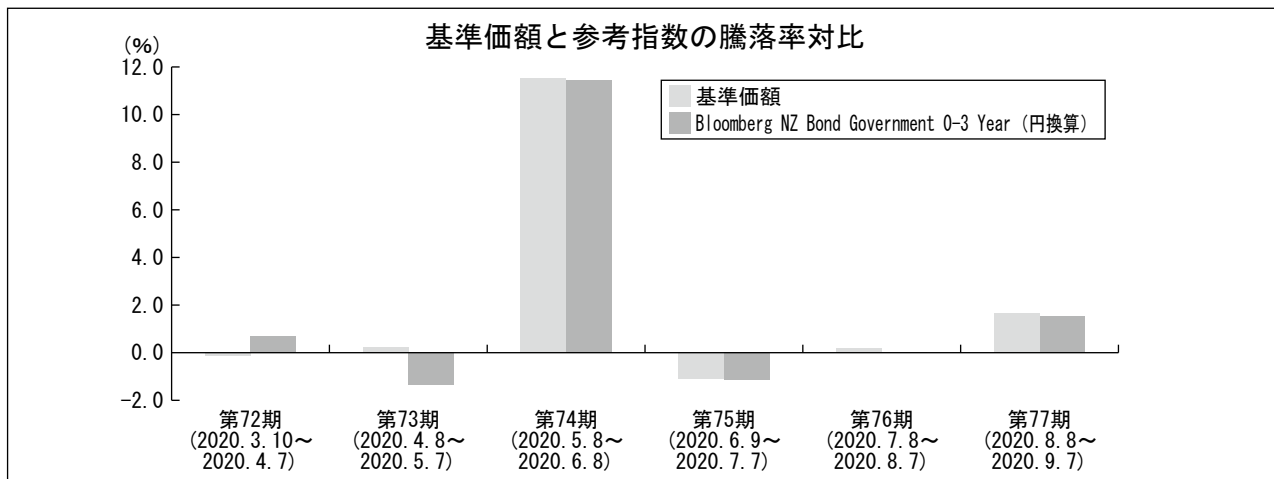
\*純資産総額に対する評価額の割合

\*グラフの格付表記はS&Pの格付記号で表示しています。

## 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



\* 基準価額の騰落率は、分配金込みで計算しております。

### 【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第72期～第77期の各期において30円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
	2020年3月10日 ～2020年4月7日	2020年4月8日 ～2020年5月7日	2020年5月8日 ～2020年6月8日	2020年6月9日 ～2020年7月7日	2020年7月8日 ～2020年8月7日	2020年8月8日 ～2020年9月7日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	0.45	0.45	0.41	0.41	0.41	0.41
当期の収益 (円)	9	10	17	10	12	19
当期の収益以外 (円)	20	19	13	19	18	10
翌期繰越分配対象額 (円)	654	635	623	603	586	575

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

## 今後の運用方針

### ■短期NZドル債オープン（毎月分配型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■短期NZドル債マザーファンド

足元では、グローバルに新型コロナウイルスへの過度な懸念が後退し、経済指標も底堅く、株式市場などリスク性資産市場も回復を見せています。一方、感染が再び拡大する可能性など、先行きには不透明感が強く、RBNZもマイナス金利を検討するなど、各国の中央銀行はハト派的な姿勢を維持しています。

不透明感の払拭には時間を要すると見られ、RBNZのハト派姿勢も長期化する可能性が高いことから、今後当面は債券のデュレーションを長めの水準でコントロールすることを基本とし、感染状況、経済指標等を見極めつつ機動的に対応する方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	第72期～第77期		項目の概要
	2020年3月10日～2020年9月7日		
	金額	比率	
信託報酬	43円	0.619%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は7,006円です。
（投信会社）	(21)	(0.302)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(21)	(0.301)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	13	0.185	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(12)	(0.178)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	56	0.804	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

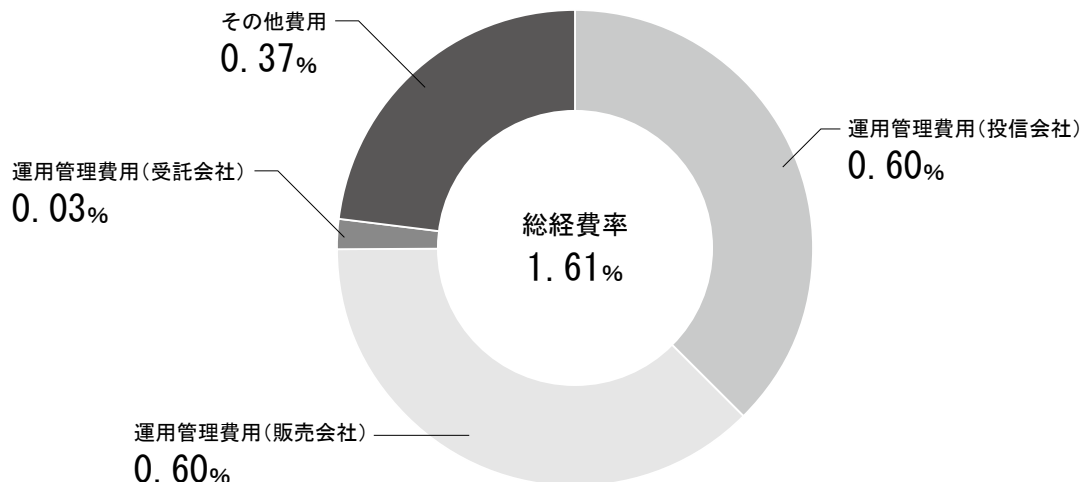
なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。



## 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

### 参考情報 総経費率（年率換算）



\*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

\*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.61%です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2020年3月10日から2020年9月7日まで）

決 算 期	第 72 期 ～ 第 77 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 9,918	千円 9,587	千口 39,587	千円 39,596

## 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

### 利害関係人との取引状況等

（2020年3月10日から2020年9月7日まで）

#### ■利害関係人との取引状況

<短期NZドル債オープン（毎月分配型）>

当作成期における利害関係人との取引はありません。

<短期NZドル債マザーファンド>

区 分	第 72 期 ~			第 77 期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
為 替	百万円 1,976	百万円 104	% 5.3	百万円 2,007	百万円 104	% 5.2

\*平均保有割合88.8%

\*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、株式会社三井住友銀行です。

### 組入資産の明細

2020年9月7日現在

#### ■親投資信託残高

	第 71 期 末	第 77 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 239,928	千口 210,260	千円 218,207

\*短期NZドル債マザーファンド全体の受益権口数は、238,326千口です。

### 投資信託財産の構成

2020年9月7日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
短期NZドル債マザーファンド	千円 218,207	% 99.4
コール・ローン等、その他	1,232	0.6
投資信託財産総額	219,439	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=71.39円

\*短期NZドル債マザーファンド

当期末における外貨建資産（242,397千円）の投資信託財産総額（249,182千円）に対する比率 97.3%

## 短期NZドル債オープン（毎月分配型）

### 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月7日) (2020年5月7日) (2020年6月8日) (2020年7月7日) (2020年8月7日) (2020年9月7日)現在

項目	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末
(A) 資産	220,020,318円	219,716,658円	244,616,362円	240,457,241円	234,218,396円	219,439,991円
コール・ローン等	—	—	—	—	—	84,247
短期NZドル債マザーファンド(評価額)	220,020,318	219,716,658	244,616,362	240,457,241	234,218,396	218,207,914
未収入金	—	—	—	—	—	1,147,830
(B) 負債	1,203,852	1,219,054	1,247,354	1,732,693	1,224,625	1,339,845
未払収益分配金	988,193	988,977	991,691	987,775	966,260	893,421
未払解約金	—	—	—	502,768	—	201,769
未払信託報酬	213,780	226,211	249,606	234,036	248,071	232,320
その他未払費用	1,879	3,866	6,057	8,114	10,294	12,335
(C) 純資産総額(A-B)	218,816,466	218,497,604	243,369,008	238,724,548	232,993,771	218,100,146
元本	329,397,888	329,659,074	330,563,775	329,258,594	322,086,897	297,807,111
次期繰越損益金	△110,581,422	△111,161,470	△87,194,767	△90,534,046	△89,093,126	△79,706,965
(D) 受益権総口数	329,397,888口	329,659,074口	330,563,775口	329,258,594口	322,086,897口	297,807,111口
1万口当り基準価額(C/D)	6,643円	6,628円	7,362円	7,250円	7,234円	7,324円

#### \*元本状況

期首元本額	327,550,886円	329,397,888円	329,659,074円	330,563,775円	329,258,594円	322,086,897円
期中追加設定元本額	1,870,486円	1,407,693円	4,509,289円	2,441,644円	2,472,132円	1,214,816円
期中一部解約元本額	23,484円	1,146,507円	3,604,588円	3,746,825円	9,643,829円	25,494,602円

#### \*元本の欠損

110,581,422円	111,161,470円	87,194,767円	90,534,046円	89,093,126円	79,706,965円
--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------

### 損益の状況

自2020年3月10日  
至2020年4月7日

自2020年4月8日  
至2020年5月7日

自2020年5月8日  
至2020年6月8日

自2020年6月9日  
至2020年7月7日

自2020年7月8日  
至2020年8月7日

自2020年8月8日  
至2020年9月7日

項目	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
(A) 有価証券売買損益	△ 96,263円	724,877円	25,492,476円	△ 2,449,331円	690,745円	3,799,385円
売	115	725,392	25,619,089	66,742	718,811	3,961,218
買	△ 96,378	△ 515	△ 126,613	△ 2,516,073	△ 28,066	△ 161,833
(B) 信託報酬等	△ 215,659	△ 228,198	△ 251,797	△ 236,093	△ 250,251	△ 234,361
(C) 当期損益金(A+B)	△ 311,922	496,679	25,240,679	△ 2,685,424	440,494	3,565,024
(D) 前期繰越損益金	△ 76,464,009	△ 76,837,737	△ 75,873,046	△ 50,618,096	△ 52,098,481	△ 47,936,525
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 32,817,298	△ 33,831,435	△ 35,570,709	△ 36,242,751	△ 36,468,879	△ 34,442,043
(売買損益相当額)	( 22,199,167)	( 21,559,822)	( 20,992,717)	( 20,487,197)	( 19,432,306)	( 17,433,515)
(売買損益相当額)	(△ 55,016,465)	(△ 55,391,257)	(△ 56,563,426)	(△ 56,729,948)	(△ 55,901,185)	(△ 51,875,558)
(F) 計(C+D+E)	△ 109,593,229	△ 110,172,493	△ 86,203,076	△ 89,546,271	△ 88,126,866	△ 78,813,544
(G) 収益分配金	△ 988,193	△ 988,977	△ 991,691	△ 987,775	△ 966,260	△ 893,421
次期繰越損益金(F+G)	△ 110,581,422	△ 111,161,470	△ 87,194,767	△ 90,534,046	△ 89,093,126	△ 79,706,965
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 33,476,093	△ 34,457,787	△ 36,000,441	△ 36,868,342	△ 37,048,635	△ 34,739,850
(配当等相当額)	( 21,542,646)	( 20,935,110)	( 20,568,187)	( 19,864,830)	( 18,854,727)	( 17,137,559)
(売買損益相当額)	(△ 55,018,739)	(△ 55,392,897)	(△ 56,568,628)	(△ 56,733,172)	(△ 55,903,362)	(△ 51,877,409)
分配準備積立金	23,240	11,432	30,866	20,582	31,704	9,093
繰越損益金	△ 77,128,569	△ 76,715,115	△ 51,225,192	△ 53,686,286	△ 52,076,195	△ 44,976,208

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## 短期N Zドル債オープン（毎月分配型）

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(A) 配当等収益(費用控除後)	326,086円	350,897円	581,517円	352,247円	398,226円	575,506円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	22,201,441	21,561,462	20,997,919	20,490,421	19,434,483	17,435,366
(D) 分配準備積立金	26,552	23,160	11,308	30,519	19,982	29,201
分配可能額(A+B+C+D)	22,554,079	21,935,519	21,590,744	20,873,187	19,852,691	18,040,073
(1 万口当り分配可能額)	( 684.71)	( 665.4)	( 653.15)	( 633.95)	( 616.38)	( 605.76)
収益分配金	988,193	988,977	991,691	987,775	966,260	893,421
(1 万口当り収益分配金)	( 30)	( 30)	( 30)	( 30)	( 30)	( 30)

## 分配金のお知らせ

決 算 期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期
1万口当り分配金(税込)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

### ■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

### ■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2020年9月7日

(第13期：2020年3月10日～2020年9月7日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資することにより、利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要運用対象	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# 短期NZドル債マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率			
第9期 (2018年9月7日)	9,695	△ 3.5	9,460	△ 4.1	96.2	—	389
第10期 (2019年3月7日)	10,289	6.1	9,939	5.1	95.9	—	329
第11期 (2019年9月9日)	9,675	△ 6.0	9,194	△ 7.5	90.8	—	291
第12期 (2020年3月9日)	9,175	△ 5.2	8,692	△ 5.5	97.1	—	247
第13期 (2020年9月7日)	10,378	13.1	9,662	11.2	97.0	—	247

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2020年3月9日	9,175	—	8,692	—	97.1	—
3月末	9,183	0.1	8,739	0.5	87.6	—
4月末	9,383	2.3	8,838	1.7	83.7	—
5月末	9,623	4.9	8,990	3.4	92.1	—
6月末	9,967	8.6	9,317	7.2	93.0	—
7月末	10,103	10.1	9,435	8.5	90.0	—
8月末	10,300	12.3	9,599	10.4	95.6	—
(期末) 2020年9月7日	10,378	13.1	9,662	11.2	97.0	—

\*騰落率は期首比です。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

# 短期NZドル債マザーファンド

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

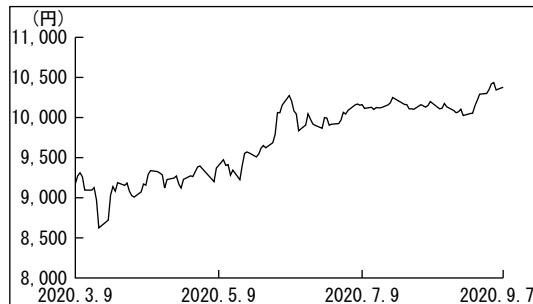
期 首：9,175円  
期 末：10,378円  
騰落率：+13.1%

### 【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

期初、新型コロナウイルス感染拡大の影響でNZドル円は下落して始まったものの、その後は新型コロナウイルスに対する過度な懸念が後退し、NZドル円も大幅に反発し、基準価額の上昇要因となりました。また、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が強力な金融緩和を行ったことでNZ国債の利回りが低下（価格は上昇）したことも基準価額の上昇要因となりました。

基準価額の推移



## 【投資環境】

当期のNZ債券市場は、RBNZの強力な金融緩和を背景に大幅に利回りが低下（価格は上昇）しました。また、NZドル円は、新型コロナウイルスへの過度な懸念の後退から上昇しました。

期初の3月には、新型コロナウイルスの感染者が世界的に急増し、各国が都市封鎖や外出制限などの対策を行ったことで景気減速懸念が高まりました。質への逃避の動きから現金需要が急激に高まり、NZ国債は一時大幅に利回りが上昇（価格は低下）する場面もありました。その後、3月末にかけてはRBNZが利下げおよび量的緩和の導入を決定したことで債券市場は落ち着きを取り戻し、その後もRBNZがハト派的な姿勢を継続したことで低下基調をたどりしました。

NZドル円相場についても、3月の質への逃避の動きでは一時的に大幅に下落したものの、その後は各国の財政政策や中央銀行の強力な金融緩和、感染者数のピークアウトなどを背景にリスク志向が回復し、期首対比で大幅に上昇して期末を迎えました。

## 【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+13.1%となりました。

当期は、新型コロナウイルス感染拡大を背景にRBNZがハト派的な姿勢を維持したことを受け、期を通じてデュレーション\*を長めでコントロールしました。

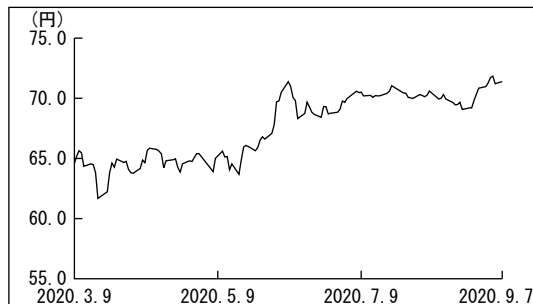
期の前半は、RBNZが利下げに加え量的緩和を導入するなど強力な緩和策を決定するなか、期首時点で長めとしていたデュレーションを維持しました。その後、3月に急落した株式市場が反発するなど金融市場が正常化に向かうなか、期中にデュレーションを小幅に引き下げた場面もあったものの、RBNZがハト派的な姿勢を維持していることを背景に、その後もデュレーションは長めの水準で維持しました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移

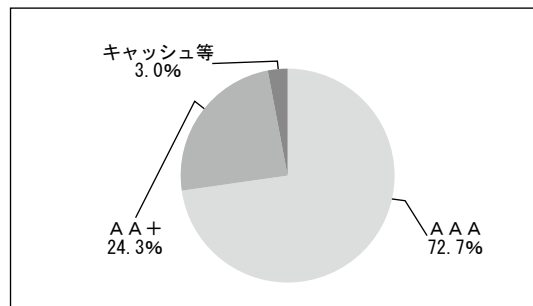


為替レート（ニュージーランドドル/円）の推移



格付別資産構成

(2020年9月7日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

\*グラフの格付表記はS&Pの格付記号で表示しています。



## 短期NZドル債マザーファンド

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

基準価額の騰落率は、参考指数であるBloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）の騰落率+11.2%を1.9%上回りました。

### 今後の運用方針

足元では、グローバルに新型コロナウイルスへの過度な懸念が後退し、経済指標も底堅く、株式市場などリスク性資産市場も回復を見せています。一方、感染が再び拡大する可能性など、先行きには不透明感が強く、RBNZもマイナス金利を検討するなど、各国の中央銀行はハト派的な姿勢を維持しています。

不透明感の払拭には時間を要すると見られ、RBNZのハト派姿勢も長期化する可能性が高いことから、今後も当面は債券のデュレーションを長めの水準でコントロールすることを基本とし、感染状況、経済指標等を見極めつつ機動的に対応する方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

### 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年3月10日～2020年9月7日		
	金額	比率	
その他費用	18円	0.180%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
（保管費用）	(17)	(0.177)	
（その他）	(0)	(0.002)	
合計	18	0.180	
期中の平均基準価額は9,760円です。			

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 円未満は四捨五入しています。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 売買及び取引の状況

(2020年3月10日から2020年9月7日まで)

### ■公社債

		買 付 額		売 付 額	
外 国	ニュージーランド	国 債 証 券	千ニュージーランド・ドル 318	千ニュージーランド・ドル 304	
		地 方 債 証 券	501	736 (500)	
		特 殊 債 券	533	209	

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

## 主要な売買銘柄

(2020年3月10日から2020年9月7日まで)

### ■公社債

当			期		
買	付	額	売	付	額
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
INT BK RECON & DEVELOP	2.5 01/24/24	35,537	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	1.5 04/20/29	34,497
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	1.5 04/15/26	32,774	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5.5 04/15/23	14,852
NEW ZEALAND GOVERNMENT	6 05/15/21	20,828	KOMMUNALBANKEN AS	5.125 05/14/21	13,552
			NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5 05/15/31	10,104
			NEW ZEALAND GOVERNMENT	3 04/15/20	9,730

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

## 利害関係人との取引状況等

(2020年3月10日から2020年9月7日まで)

### ■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買 付 額 等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売 付 額 等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
為 替	百万円 1,976	百万円 104	% 5.3	百万円 2,007	百万円 104	% 5.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、株式会社三井住友銀行です。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 組入資産の明細

2020年9月7日現在

### ■ 公社債

#### A 債券種類別開示

##### 外国（外貨建）公社債

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち BB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 3,200	千ニュージーランド・ドル 3,361	千円 239,974	% 97.0	% —	% 25.2	% 15.5	% 56.3
合 計	—	—	239,974	97.0	—	25.2	15.5	56.3

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

#### B 個別銘柄開示

##### 外国（外貨建）公社債

銘 柄	当 期				末		
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(ニュージーランド・ドル…ニュージーランド)		%	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル	千円		
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	6.0000	400	415	29,690	2021/05/15	
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	200	207	14,833	2021/05/15	
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	1.5000	500	528	37,709	2026/04/15	
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	1.5000	100	105	7,506	2029/04/20	
NORDIC INVESTMENT BANK	特殊債券	3.1250	300	304	21,733	2021/03/18	
KOMMUNALBANKEN AS	特殊債券	5.1250	500	516	36,861	2021/05/14	
INT BK RECON & DEVELOP	特殊債券	3.5000	500	505	36,114	2021/01/22	
INT BK RECON & DEVELOP	特殊債券	2.5000	500	537	38,353	2024/01/24	
HOUSING NEW ZEALAND LTD	特殊債券	3.4200	200	240	17,170	2028/10/18	
合 計	—	—	3,200	3,361	239,974	—	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 投資信託財産の構成

2020年9月7日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 239,974	% 96.3	千円 239,974	% 96.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9,207	3.7	9,207	3.7
投 資 信 託 財 産 総 額	249,182	100.0	249,182	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=71.39円

\*当期末における外貨建資産（242,397千円）の投資信託財産総額（249,182千円）に対する比率 97.3%

## 短期N Zドル債マザーファンド

### 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年9月7日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	262,083,943円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,775,198
公 社 債(評価額)	239,974,700
未 収 入 金	12,911,116
未 収 利 息	2,422,929
(B) 負 債	14,746,151
未 払 金	12,941,453
未 払 解 約 金	1,804,698
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	247,337,792
元 本	238,326,614
次 期 繰 越 損 益 金	9,011,178
(D) 受 益 権 総 口 数	238,326,614口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,378円

\* 元本状況

期首元本額	270,005,503円
期中追加設定元本額	10,128,962円
期中一部解約元本額	41,807,851円

\* 元本の内訳

短期N Zドル債オープン (毎月分配型)	210,260,083円
短期N Zドル債オープン (資産成長型)	28,066,531円

### 損益の状況

自2020年3月10日  
至2020年9月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,930,254円
受 取 利 息	3,937,024
支 払 利 息	△ 6,770
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	28,121,689
売 買 益	37,166,414
売 買 損	△ 9,044,725
(C) そ の 他 費 用	△ 459,239
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	31,592,704
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△22,270,068
(F) 解 約 差 損 益 金	26,008
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 337,466
(H) 計 (D+E+F+G)	9,011,178
次 期 繰 越 損 益 金(H)	9,011,178

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

### お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。